

令和7年度 第1回 新潟市潟東歴史民俗資料館運営協議会 会議概要

日時：令和7年8月28日（木） 午後1時30分から2時00分

場所：潟東地区公民館研修室

出席委員：6名

池浦周英、石井敏子、小林真由美、星野 学、八百板恵理子、吉田幸雄
(五十音順、敬称略)

欠席委員：なし

傍聴者：なし

事務局：(潟東地区公民館) 村越茂樹 佐久間美和

(樋口記念美術館) 橋本博文:学芸員 松沢寿重:学芸員補助

資料：別添

会議のあらまし

- ・令和7年度第1回目の協議会を開催した。
- ・会長及び副会長の選任を行った。
- ・令和7年度の事業計画について説明を行い、意見を求めた。

(1) 会長及び副会長の選任について

選任結果：会長 吉田幸雄 委員
副会長 石井敏子 委員

(2) 令和7年度事業計画について

事務局から概要を説明。

(3) その他

特になし

〈意見等〉

- ・昨年度のおひなさま展も大変好評で、今年度の開催も楽しみにしている。
- ・美術館事業に加え公民館事業などの他事業とも連携を図り、引き続き、資料館のPRに努め、所蔵・展示している考古・民俗資料について、多く方から観覧してもらいたい。
- ・地域の小中学校やこども園の子ども達の貴重な教材として、民俗資料の活用に繋げてほしい。併せて、所蔵資料の解説やガイドができる人材が少ない現状を踏まえ、対応策を検討していくべきでは。

令和 7 年度 第 1 回 新潟市潟東歴史民俗資料館運営協議会 次第

日 時 令和 7 年 8 月 28 日 13 時 30 分～

場 所 潟東地区公民館第 1 研修室

1 開 会

2 議 事

(1) 会長及び副会長の選任について

(2) 令和 7 年度事業計画について

(3) その他

3 閉 会

潟東樋口記念美術館・潟東歴史民俗資料館

イベント名	内容
4月～6月 金子孝信展 新潟ゆかりの書展	新潟市中央区「蒲原神社」出身で東京美術学校(現・東京藝術大学)を首席で卒業しながらも、中国の戦地で散った金子孝信の遺作の中から、静物画、人物画、風景画を始め、画帳や絵日記など、常設展を拡大して展示する。また、館蔵品の樋口コレクションからも絵画や銀器などを展示する。 当館で所蔵する地元出身の書家、福富雪底や坂井榮信、坂井八空などの作品を始め、巻菱湖を始めとする「幕末の三筆」などの書を集め、新潟ゆかりの遺墨を味わう。
7月～8月 戦争展 新潟ゆかりの書展Ⅱ	戦後80年の節目の年に、着物、絵葉書、新聞、絵画等各種戦争遺物を通して、戦争の悲惨さ、平和の尊さを学ぶ。 当館で所蔵する地元出身の書家、福富雪底や坂井榮信、坂井八空などの作品を始め、巻菱湖を始めとする「幕末の三筆」などの書を集め、新潟ゆかりの遺墨を味わう。※初回展示作品を一部入れ替え。
9月～12月 尾竹三兄弟と教科書展	明治・大正・昭和の国定教科書に挿絵を描いた当地ゆかりの尾竹三兄弟の作品と教科書の歴史を展示する。また、開館時間を延長したナイトミュージアムを開催し、地元の園児、小中学生がデザインした「絵とうろう」に灯りをともし展示する。
1月～3月 おひさなさま展	越後おひなさま保存研究会のメンバーから協力を得て、歴史的なお雛様、個性的な現代雛、雛絵などを飾る。また、地元の潟東小学校、かたひがしこども園、更生慈仁会すずまり、グループホーム中之口の教育機関・福祉施設との連携で吊るし雛も展示する。
1月～3月 安宅安五郎と玩具展	寄贈を受けた安宅安五郎のスケッチブック「世界の玩具」に関連して、日本の玩具と世界の玩具を展示する。
6月～3月 お茶の間美術館	地域で活動している各種団体、園児・小中学生の作品を展示する。

常設展示(潟東歴史民俗資料館)

銚潟関連資料、市指定文化財を含む考古・歴史・民俗資料等を展示